

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	観光マーケティング実践 I		(NGH24G)
講義名 (コード)	観光マーケティング実践 I A		(NGH24GA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	1
授業担当者		時間数	30
成績評価教員	横内 和加	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	Instagramを使った観光情報発信の実践力を育成。インスタの基礎構築から企画立案などを通じて、表現力とマーケティング視点を養う。観光現場でSNS運用を任せられる基礎力を習得する。
全体の内容と概要	Instagramを活用した観光PRの手法を、実際にアカウントを運用しながら習得。プロフィール作成、投稿企画、表現、DM対応など、観光業で役立つSNS活用スキルを総合的に学ぶ。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	自己紹介、目的とゴール説明、Instagramアカウントの利用状況確認・アカウント取得
2	基本操作の習得	Instagramの基本機能の説明
3	基本操作の習得	Instagramの基本機能の説明
4	ユーザー目線で投稿を考える	ユーザーの導線説明・#検索でユーザー視点を体感し、感情の言語化とシェア。「みたくなる投稿」の特徴を学ぶ。
5	信州上田の観光の魅力を語る	信州上田の観光資源を確認し、自分ならどう伝えるかを考える視点と表現力を育てる。
6	観光系アカウントを分析する	類似アカウント・人気投稿をリサーチ。分析。どのような発信が好まれているかを整理する。
7	アカウントコンセプト立案	アカウントの方向性を決定
8	アカウントコンセプト立案	発信内容・ターゲット・投稿テーマ・世界観などを整理し、プロギュー設計に向けた準備をおこなう。
9	プロフィール文章作成	コンセプトを的確に表現したプロフィール文章を作成。
10	基本の写真撮影	スマホで簡単にできる初心者向けの写真の構図を学ぶ
11	アイコン撮影ワーク	プロフィールアイコン用の撮影を行う。
12	投稿用撮影ワーク	実際に投稿に使用する写真素材の撮影を行う。
13	期末テスト	成果物制作
14	期末テスト	成果物制作・提出
15	フィードバック	インスタアカウントの提出

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	レストランサービスⅢ		(NGH24A)
講義名 (コード)	レストランサービスⅢA		(NGH24AA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	1
授業担当者	小澤 ゆみ	時間数	30
成績評価教員	小澤 ゆみ	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	2013年ユネスコ世界無形文化遺産に認定された和食の歴史と魅力を知ることができる 和食のサービスやマナーを理解し、実践することができる
全体の内容と概要	歴史や食材、器の知識をもってサービスができるように和食を基本から学ぶ
授業時間外の学修	発表資料の作成
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	和食の歴史を理解することができる	和食の歴史、ユネスコ世界無形文化財としての和食について知る
2	和食の基本形とメニューを理解することができる	和食店のメニューを調べ、一汁三菜について知る
3	和食のマナー・サービスを理解することができる	箸の使いかたや器の持ち方など和食のマナーについて知る 会席料理の基本的な提供順序について知る
4	和食のマナー・サービスを実践することができる	箸の使いかた・器の持ち方の実践 和食の器の扱い方・所作・提供順序の実践
5	旬の食材について知り調べることができる	実技テスト
6	旬の食材について知り発表することができる	実技テスト
7	和食の味覚・栄養・いろいろについて理解することができる	野菜・魚の旬や産地、肉のブランドについて調べる
8	和食の調味料・出汁について理解することができる	野菜・魚の旬や産地、肉のブランドについて発表する
9	暦と料理について理解することができる	いろいろや旬の食材と栄養との関係、 陰陽五行・五味五色五法の考え方について知る
10	郷土料理について知り調べることができる	五味を構成する調味料と出汁のうま味について知る 調味料の産地を調べる
11	郷土料理について発表することができる	日本の暦と料理、冠婚葬祭と料理について知る
12	和食のマナー・サービスを実践することができる	日本各地の郷土料理について知っていることを話す 調べる郷土料理を決め、料理の歴史・由来・どんな料理か調査する
13	和食のマナー・サービスを実践することができる	調べた郷土料理について発表する
14	まとめ	前期期末テスト
15	まとめ	テストフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	特定技能1号外食業技能測定試験学習用テキスト【接客全般】【飲食物調理】【衛生管理】 特定技能1号評価試験宿泊分野学習用テキスト、「ホテルの日本語」
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	宿泊業務Ⅲ		(NGH24C)
講義名 (コード)	宿泊業務ⅢA		(NGH24CA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	高木 裕衣	時間数	30
成績評価教員	高木 裕衣	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	ホテル・旅館の形態について知り、即戦力の人材を育てる。
全体の内容と概要	宿泊業界・おもてなしについて学び、お客さまのことを考えた接客ができるようになる。
授業時間外の学修	特になし
履修上の注意事項等	指示があるとき以外は携帯使用禁止

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	接客に必要とされる要件を説明できるようになる①	感じのよいお客さま応対について考え、サービス業に就くうえで自分が大事にするルールを決める。
2	接客に必要とされる要件を説明できるようになる②	サービスにおける適切な判断と表現を学ぶ。サービス接客検定3級の問題を解き、なぜその答えになるのかも話し合う。
3	従業要件を理解し、説明できるようになる①	学校生活と社会人生活を比べ、サービス業に就くうえで必要な力を身につけるにはどうすればいいか考える。
4	従業要件を理解し、説明できるようになる②	サービス業に就くうえで必要な力についてのサービス接客検定3級の問題を解き、なぜその答えになるのかも話し合う。
5	サービスの知識を理解し、説明できるようになる①	サービスの意義について知り、サービス接客検定3級の問題を解きながら自分ならどう対応するかを考える。
6	サービス業でよく使われる用語について理解できる	物の数え方や特別な言い回しなどを広く学び、サービス接客検定3級の問題を解いて理解度を確認する。
7	学習したことを実践できる	前半で学習した内容を復習し、初回で決定したサービス業に就くうえで自分が大事にするルールを振り返って見直す。
8	人間関係・接客に関する知識を理解し、説明できるようになる①	サービス業において重要な【人間関係】について学び、自分の生活の中の【人間関係】も振り返る。
9	人間関係・接客に関する知識を理解し、説明できるようになる②	自分がお客さまの立場のときを思い出しながらお客さまの心理について学ぶ。
10	接客者としての言葉遣い、話し方を理解し、使うことができる。	お客さまの心理について復習テスト 接客者としての礼儀や振る舞いについて知る。
11	接客者としての言葉遣い、話し方を理解し、使うことができる。	確認問題を解きながら、敬語の復習をする。 実際の場面を想定し、お客さまへ対応する言葉遣いを練習する。
12	接客者としての適切な服装が理解できる。	敬語の復習テスト 服装を整えることの意味を知り、実践できるようになる。
13	学習したことを実践できる	後半で学習した内容を復習し、初回と中間で決定したサービス業に就くうえで自分が大事にするルールを振り返って見直す。
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	サービス接客 検定試験合格テキスト&問題集
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	旅行業務Ⅲ		(NGH24E)
講義名 (コード)	旅行業務ⅢA		(NGH24EA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	浅沼 由希	時間数	30
成績評価教員	浅沼 由希	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	日本の地理や文化を学び、各地の観光地について学ぶことでより良いサービスを提供することが出来るようになる。
全体の内容と概要	観光地や日本について満足度の高い丁寧な案内が出来るように実習をおこなう。
授業時間外の学修	特になし
履修上の注意事項等	特になし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	授業の進め方の説明
2	長野県の観光地を知ることができる①	各地長野県の都道府県の場所確認
3	長野県の観光地を知ることができる②	長野県の観光地は、どんなところがあるか学ぶ
4	長野県の観光地を知ることができる③	興味のある場所を調べる
5	長野県の観光地を知ることができる4	調べた場所を発表する
6	各地の名産品、食、文化の知識を深めることができる	地域の魅力を学ぶ
7	各地の方言や物語、歌の知識を深めることができる	地域の魅力を学ぶ
8	旅行プランを作成できる	興味のある場所の旅行プランを作る
9	旅行プランを作成できる	興味のある場所の旅行プランを作る
10	観光地を案内できる	実践演習
11	観光地を案内できる	まとめ
12	学んだことをアウトプットできる	テーマを決めて調べる
13	学んだことをアウトプットできる	テーマを決めて調べる
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	フィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	独自資料
参考文献・資料等	観光地のパンフレットなど
備考	なし

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	検定試験対策 I		(NGH24I)
講義名 (コード)	検定試験対策 I A		(NGH24IA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	自分のレベルに合わせた資格の取得
全体の内容と概要	日商PC検定 (BASIC) またはMOS検定のうち自分の受験科目を選択し検定対策をする
授業時間外の学修	資格試験受験に向けて、プログラムや模擬問題で繰り返し練習してください
履修上の注意事項等	資格試験の受験はいつでも可能ですので、受験日を意識して学習してください

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画				
回	到達目標	授業内容		
1	受験科目を決定し目標を決める MOS検定の問題を確認し理解する	MOS PowerPointプログラムの操作確認		
2	受験科目を決定し目標を決める MOS検定の問題を確認し理解する	MOS Word Expertプログラムの操作確認		
3	受験する科目の問題を学習して 解答できるようになる	選択した受験する科目のプログラムを練習 MOS Word Expert・MOS PowerPoint・日商PC Word Basic		
4	検定受験対策 (科目ごと学習して 解答できるようになる) 日商PC Word Basic 基本的な操作を取得 指示に従った正確なデータ処理 MOS (Word・PowerPoint) 高度な機能を活用し さまざまな目的や状況に応じて 利用環境をカスタマイズできる	Basic (プログラム練習) 模擬1 ビジネス文書作成の基本	MOS Word ・文書の管理 ・文字・段落・セクションの 挿入と書式設定 ・表やリストの管理 ・参考資料の作成と管理 ・グラフィック要素の 挿入と書式設定 ・文書の共同作業の管理 模擬試験プログラムを 活用して学習	MOS PowerPoint ・プレゼンテーションの 管理 ・スライドの管理 ・テキスト・図形 画像の挿入と書式設定 ・表・グラフ・SmartArt 3Dモデル・メディアの 挿入 ・画面切り替えや アニメーションの適用 模擬試験プログラムを 活用して学習
5		Basic (プログラム練習) 模擬2 表を活用した文書作成		
6		Basic (プログラム練習) 模擬3 図形を活用した文書作成		
7		Basic 補足問題 テキスト問題で操作確認		
8	模擬試験プログラムを利用した 検定試験練習 プログラムで練習することにより 実際の試験形式の手順を習得する	資格試験 模擬試験プログラム練習		
9		BASIC 商工会議所サンプルプログラム・FOM出版問題集		
10		MOS FOM出版		
11		Word 2019&365 Expert 対策テキスト&問題集		
12		PowerPoint 365 対策テキスト&問題集		
13	(受験できる学生は検定受験)			
14	まとめと解説	期末テスト		
15	まとめと解説	テスト F B		

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	MOS 対策テキスト&問題集 Basic 日商PC検定試験公式テキスト&問題集 (貸出)
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント 資格試験対策として日商PC検定・MOSの模擬試験プログラムを利用
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	国際理解 I		(NGH24K)
講義名 (コード)	国際理解 I A		(NGH24KA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	石田 浩也	時間数	30
成績評価教員	石田 浩也	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	国際的な理解度を高め、異文化に対する知識を習得し、様々な国の人達との円滑かつ効果的なコミュニケーションを行うことができるようになる
全体の内容と概要	世界の国々の歴史や現状をテキストに基づき学ぶとともに、世界的な課題提起「SDGs」の進捗状況などを、グループワーク等を活用して学ぶ
授業時間外の学修	様々な国の方との交流を通じ相互理解を深める
履修上の注意事項等	各授業の最後に確認テストを実施する予定

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	出席率70%以上で期末試験の受験対象者とし、授業への参加態度や学習意欲も評価の対象とする		
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション 学習意図が理解できる	本授業の意図と習得する知識・現段階における知識レベルの把握
2	各国の位置関係が理解できる	・世界地図を参考に世界の国々の位置関係やエリアを学ぶ 【セルフワーク】出身国の位置関係と他国との文化交流を説明する
3	国際機関・団体を理解できる	・国際的な機関や団体の種類と業務内容について学ぶ 【グループワーク】設立背景や主な活動などの調査発表
4	世界の地理を理解できる	・各大陸の呼称や構成国について学ぶ 【セルフワーク】各大陸の成り立ちや地形の変化を調査する
5	エリアの特徴を理解できる	・ヨーロッパ、アジア、アフリカの特徴について学ぶ 【グループワーク】各エリアの構成国や文化について調査する
6	エリアの特徴を理解できる	・南北アメリカ、オセアニア、南極の特徴について学ぶ 【セルフワーク】各エリアの構成国や文化について調査する
7	世界の現状を理解できる①	・世界の気候や天気など生活にかかわる特徴について学ぶ 【グループワーク】人口や言語の違いについて調査する
8	世界の現状を理解できる②	・各国の平均所得や生活レベルについて学ぶ 【セルフワーク】主要産業や働く上でのルールなどについて調査する
9	世界の現状を理解できる③	・世界の貿易の現状と輸出入の実情について学ぶ 【グループワーク】様々な資源やエネルギーの現状について調査する
10	世界の現状を理解できる④	・世界の産業（農業・商業・工業）の特徴について学ぶ 【セルフワーク】年間生産量や特産品について調査する
11	世界の文化を理解できる①	・スポーツの国技性や多様な食文化について学ぶ 【グループワーク】オリンピック競技の変遷について調査する
12	世界の文化を理解できる②	・世界遺産の種類や選定基準、認定施設等について学ぶ 【セルフワーク】世界遺産に認定されるメリットとデメリット
13	世界の文化を理解できる③	・世界の祭りや風習について学ぶ 【グループワーク】お祭りの起源や類似性について調査する
14	前期末テスト	前期授業で学んだ内容の確認テスト（筆記・実技）
15	フィードバック・まとめ	テスト結果のフィードバックと回答解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	「地図でよくわかる世界の国大百科」「こどもSDG s 達成レポート」
参考文献・資料等	なし
備考	理解を深めるための独自資料を、内容に応じ用意

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	国際観光学 I		(NGH24M)
講義名 (コード)	国際観光学 I A		(NGH24MA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	塚川 剛	時間数	30
成績評価教員	塚川 剛	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	前期は、世界各国及び主要都市、観光地の基礎情報をおさえる。後期は、急増するインバウンド対応、異文化理解、宗教、食事制限、LGBTQ、トランスジェンダーなど学ぶ。
全体の内容と概要	日本人の海外旅行趨勢、インバウンドの光と影、その対策に追われる産管学について理解を深める。学習者が卒業後の国内就労を目指す上で有益な情報源になる内容とする。
授業時間外の学修	人気アニメ、漫画、キャラクター、映画ロケの聖地、コスプレについて調べる。
履修上の注意事項等	インバウンド向けの通訳案内士の経験談等実際の観光現場について披露する。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	自分と母国の紹介ができる。	地理、歴史、宗教、食事、文化、生活習慣など学習者一人ひとりに割り当てる。通訳案内士や観光について紹介する。
2	世界の国々を概略できる (①)	中国、韓国、北朝鮮、台湾、香港について理解する (A)
3	世界の国々を概略できる (②)	中国、韓国、北朝鮮、台湾、香港について理解する (B)
4	世界の国々を概略できる (③)	①②の復習をする。
5	世界の国々を概略できる (④)	ASEANと南アジア、中近東、アフリカについて理解する (A)
6	世界の国々を概略できる (⑤)	ASEANと南アジア、中近東、アフリカについて理解する (B)
7	世界の国々を概略できる (⑥)	④⑤の復習をする。
8	世界の国々を概略できる (⑦)	ヨーロッパ、ロシアについて学ぶ (A)
9	世界の国々を概略できる (⑧)	ヨーロッパ、ロシアについて学ぶ (B)
10	世界の国々を概略できる (⑨)	⑦⑧の復習をする。
11	世界の国々を概略できる (⑩)	北米・南米・豪州他について学ぶ (A)
12	世界の国々を概略できる (⑪)	北米・南米・豪州他について学ぶ (B)
13	世界の国々を概略できる (⑫)	⑩⑪の復習をする。全世界の復習をする。
14	まとめとテスト	前期で学んだ世界地理の基本的な知識についてテストを実施する。
15	フィードバック	テストの返却、成績や点数への講評、質疑応答。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	るるぶ地図でよくわかる世界大百科
参考文献・資料等	観光白書、観光パンフ、新聞切り抜きコピーを随時配布する。
備考	パスポート、搭乗券、乗車券などレリアアをできるだけ活用する。

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	スピーチ&プレゼンテーション I		(NGH240)
講義名 (コード)	スピーチ&プレゼンテーション IA		(NGH240A)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	高木 裕衣	時間数	30
成績評価教員	高木 裕衣	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	人前で自分の意見を発表することができる。聞いている人がわかりやすい表現や話し方を身につけてスピーチをを行い、将来の就職の場で役立たせる。
全体の内容と概要	自分の意見を反映したスピーチを作成し、スピーチの練習を行う。スピーチを作成する事だけでなく、正しい日本語を使って分かりやすい説明を行えるように話し方の練習もする。
授業時間外の学修	特になし
履修上の注意事項等	指示があるとき以外は携帯使用禁止

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	スピーチとプレゼンテーションの違いがわかる	スピーチとは何か。どんな場面でどのように使用するのか。例を見ながら正しいスピーチの方法を学ぶ。
2	スピーチをする前の準備の方法がわかる	スピーチ作成のステップ、注意する事などを学ぶ。まずは短いスピーチを作成する。
3	人前で簡単なスピーチができるようになる	簡単なテーマに沿ったスピーチを作成する。
4	人前でスピーチができるようになる	簡単なテーマに沿ったスピーチをクラスの中で発表する。
5	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにすることができる。	気になるニュースを調べ自分の意見をまとめる。
6	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにすることができる。	気になるニュースを調べ自分の意見をまとめる。
7	最近のニュースについて自分の意見をスピーチにすることができる。	気になるニュースについて自分の意見をまとめたスピーチを行う。
8	分かりやすい発表説明文を作成できる。	それぞれが興味があるテーマの写真を集め、その写真についての説明文を作成する。
9	分かりやすい発表説明文を作成できる。	それぞれが興味があるテーマの写真を集め、その写真についての説明文を作成する。
10	写真を使った発表を行うことができる。	写真を見せながら短い発表を行う。クラスメートに評価をもらう。
11	国際問題についての発表を行うことができる。	自分の興味のある現在起こっている国際問題について調べ、現状・問題の原因についてまとめる。
12	国際問題についての発表を行うことができる。	問題についてのデータを検索し、グラフ等を使ってわかりやすくPPTにまとめる。自分の意見を交えた問題の解決法を考える。
13	国際問題についての発表を行うことができる。	国際問題についての発表練習を行う。
14	まとめと解説	期末テスト プレゼンテーション発表 評価
15	まとめと解説	期末テスト プレゼンテーション発表 評価

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	ビジネス日本語Ⅲ		(NGH24Q)
講義名 (コード)	ビジネス日本語ⅢA		(NGH24QA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者		時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	
全体の内容と概要	
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅢ	(NKT24E)	
講義名 (コード)	ビジネスコンピューティングⅢF	(NKT24EF)	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	竹内 玲子	時間数	30
成績評価教員	竹内 玲子	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	東京コンピューター (株)、東京精電 (株) 歴任	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	1学年で学習したExcelの基本操作をさらに深め、実務で活用できる機能を習得し 資格取得を目指します
全体の内容と概要	テキストに沿って様々な形式の課題を作成し、活用方法を身につける 検定試験を目標に、操作・知識を学習していく
授業時間外の学修	資格試験受験に向けて、プログラムや模擬問題で繰り返し練習してください
履修上の注意事項等	検定試験はいつでも学校で受験できます 就職活動に合わせて、資格を取得する計画を立てましょう

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	ROUND・UP・DOWN関数で端数処理の意味を理解できる	ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN関数のちがいと桁数の設定
2	条件判定と比較演算子の意味を理解できる	IF関数① IF関数を使った条件判定の入力の仕方、比較演算子の意味と使い方
3	関数のネスト方法を理解できる	IF関数② 3つ以上の条件判定、関数のネストの入力方法
4	VLOOKUP関数を活用した効率的な処理方法を理解できる	VLOOKUP関数① VLOOKUP関数の構造と使用方法
5	表検索入力の方法を理解できる	VLOOKUP関数② VLOOKUP関数とHLOOKUP関数のちがい
6	練習問題により活用方法を理解する	関数練習問題（ここまで学習した関数の練習問題）
7	並べ替えとフィルターデータの検索と抽出を理解できる	並べ替えの設定方法・フィルターの設定と抽出
8	条件付き書式とテーブル機能視覚的なデータの把握と管理できる	カラースケール・データバー・アイコンセット他の条件付き書式の設定 テーブルの作成と機能の利用方法
9	ピボットテーブルの作成機能を使ったデータ集計ができる	ピボットテーブルの作成・データの集計の変更方法
10	日商PC検定Basicプログラムを操作できるようになる	日商PC検定 Basicプログラム練習 問題1 基本の計算式
11	日商PC検定Basicプログラムを操作できるようになる	日商PC検定 Basicプログラム練習 問題2 グラフの編集
12	日商PC検定Basicプログラムを操作できるようになる	日商PC検定 Basicプログラム練習 問題3 データベース分析
13	プログラムで練習することにより実際の試験形式の手順を習得する	模擬試験プログラムを利用した検定試験練習 プログラムで練習することにより実際の試験形式の手順を習得する
14	まとめと解説	期末テスト
15	まとめと解説	テストF B

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	30時間でマスターWord & Excel 2021 日商PC検定試験公式テキスト&問題集3級（貸出）・BASIC（貸出）
参考文献・資料等	各問題集からの練習問題・プリント 資格試験対策として日商PC検定の模擬試験プログラムを利用
備考	担当教員はIT業界での実務経験を活かし、 Microsoft Office製品各種の操作を体系的に指導する

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	日本語コミュニケーションⅢ		(NKT24J)
講義名 (コード)	日本語コミュニケーションⅢ A		(NKT24JA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	細かなニュアンスを理解したうえで、場面に応じて文法、語彙を使い分け、コミュニケーションを図ることができるようになる
全体の内容と概要	N1の読解、聴解の対策をしていく
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	「説明書き」が理解できる 「準備しよう」が理解できる 1	読解：ABCギフト券 聴解：発音に関する聞き取り
2	「表・リスト」が理解できる 「準備しよう」が理解できる 2	読解：例題 2 0、練習 5 0 聴解：文法に関する聞き取り①
3	実践問題が理解できる 1 「準備 しよう」が理解できる 3	読解：中文理解 例題 2 1 聴解：文法に関する聞き取り②
4	実践問題が理解できる 2 「準備 しよう」が理解できる 4	読解：中文理解 練習 5 1、5 2 聴解：会話表現
5	実践問題が理解できる 3 「準備 しよう」が理解できる 5	読解：中文理解 練習 5 3、5 4 聴解：まとめ問題
6	実践問題が理解できる 4 問題 のパターンに慣れよう 1	読解：内容理解（長文）例題 2 2 聴解：どんな返事をしますかー即時応答
7	実践問題が理解できる 5 問題 のパターンに慣れよう 2	読解：内容理解（長文）例題 2 3 聴解：このあと何をしますかー課題理解
8	実践問題が理解できる 6 問題 のパターンに慣れよう 3	読解：内容理解（長文）練習 5 5 聴解：どうしてですかーポイント理解
9	実践問題が理解できる 7 問題 のパターンに慣れよう 4	読解：主張理解（長文）例題 2 4 聴解：どんな内容ですかー概要理解
10	実践問題が理解できる 8 問題 のパターンに慣れよう 5	読解：主張理解（長文）練習 5 7 聴解：どうすることにしますかー統合理解①
11	実践問題が理解できる 9 問題 のパターンに慣れよう 6	読解：主張理解（長文）練習 5 8 聴解：どれにしますかー統合理解②
12	実践問題が理解できる 1 0 問 題のパターンに慣れよう 7	読解：主張理解（長文）練習 5 9 聴解：まとめ問題
13	実践問題が理解できる 1 1 いろいろ なタイプの話の話を聞こう 1	読解：統合理解 例題 2 5 聴解：情報を聞こう
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	完全マスターN1読解 日本語総まとめN1
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	日本語資格対策Ⅲ		(NKT24L)
講義名 (コード)	日本語資格対策Ⅲ A		(NKT24LA)
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース / WEBマーケティングコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	相手の心情を理解し、適切な言い回しをすることで、コミュニケーション力を高めるとができる
全体の内容と概要	日本語能力試験N1の文法と語彙を学んでいく
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	お礼や抱負含むを改まったスピーチができる1	文法：～ところ(を) ～の至り、～をもって 語彙：文脈規定1
2	お礼や抱負含むを改まったスピーチができる2	文法：～こととて ～にたえぬい ～たる 語彙：文脈規定2
3	お礼や抱負含むを改まったスピーチができる3	文法：～限りだ、CHECK、まとめの問題 語彙：文脈規定3
4	仕事の話題について、具体的な意見を交えて社内で話ができる1	文法：～じゃあるまいし、～んばかり、～たら/~ばそれまでだ 語彙：文脈規定4
5	仕事の話題について、具体的な意見を交えて社内で話ができる2	文法：～ものを、～ときたら、たところて 語彙：文脈規定5
6	仕事の話題について、具体的な意見を交えて社内で話ができる3	文法：～(よ)うが、～(よ)うが～まいが、～なら～で 語彙：文脈規定6
7	仕事の話題について、具体的な意見を交えて社内で話ができる4	文法：～にすれば、～までのことだ、CHECK 語彙：文脈規定7
8	仕事の結果について、振り返りながら 社内で話ができる1	文法：～といたらない、～(よ)うにも～できない、～まくる 語彙：文脈規定8
9	仕事の結果について、振り返りながら 社内で話ができる2	文法：～にしたところで、～てみせる、CHECK、まとめの問題 語彙：文脈規定10
10	や古風な表現を味わいながら、登場人物やその関係を理解する	文法：～つ～つ、～ともなく、～べく、 語彙：文脈規定11
11	や古風な表現を味わいながら、登場人物やその関係を理解する	文法：～からというもの、～ながらに、～までのことだ、 語彙：文脈規定12
12	や古風な表現を味わいながら、登場人物やその関係を理解する	文法：～をものともせず、～かたわら、CHECK、 語彙：文脈規定13
13	や古風な表現を味わいながら、出来事の経緯を追って登場人物	文法：～めく、～やいなや、～ごとき、 語彙：文脈規定14
14	まとめと解説	テスト
15	まとめと解説	テストFB

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	文字語彙：ドリル&ドリルN1 文法：TRY N1
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	キャリアデザインⅢ		(NKT24P)
講義名 (コード)	キャリアデザインⅢG		(NKT24PG)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティーコース	単位数	2
授業担当者		時間数	30
成績評価教員	高木 良幸	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	自分自身の専門学校生活や職業人生、キャリアについて自らが主体となって構想し、実現することを目指す。社会人として必要とされるマナーを習得する。⇒企業で活躍できる人間形成
全体の内容と概要	講義と演習により、就職内定へ向けて実践的なマナーやスキル、企業研究、職種研究、インターンシップの活用を通じてマッチング方法を習得する。
授業時間外の学修	インターンシップ、合同企業説明会&面接会参加 (WEB含む)
履修上の注意事項等	主体性をもって、授業に取り組む姿勢、就職に意欲的に取り組む姿勢。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業内容の理解	【オリエンテーション】 講師紹介後期の内容について説明、心構え 【演習】 進路調査 Cam-J 進路希望、希望職種、ガイダンス予約
2	インターンシップの振り返りができる	【インターンシップ】 インターンシップについての復習 【演習】 インターンシップの反省キャリア面談、応募先企業シート作成
3	就職活動スケジュールが理解できる	【就職情報説明】 就職活動スケジュール、必要書類、スキル、準備物 【演習】 キャリア面談 応募先企業シート作成
4	就職活動の計画が作成できる(1)	【行動計画立案】 応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】 キャリア面談 就職活動行動計画表作成
5	就職活動の計画が作成できる(2)	【行動計画立案】 応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】 キャリア面談 就職活動行動計画表作成
6	就職活動の計画が作成できる(3)	【行動計画立案】 応募企業先への面接試験を想定したシュミレーション 【演習】 キャリア面談 就職活動行動計画表作成
7	在留資格制度、申請について理解できる(1)	【在留資格】 就職在留資格制度、特定活動について説明、必要書類説明 【演習】 在留資格変更申請書記入、準備物確認
8	在留資格制度、申請について理解できる(2)	【在留資格】 就職在留資格制度、特定活動について説明、必要書類説明 【演習】 在留資格変更申請書記入、準備物確認
9	就職内定先企業への提出書類について理解できる(1)	【内定書類】 就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など 【演習】 内定書類記入 誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印
10	就職内定先企業への提出書類について理解できる(2)	【内定書類】 就職内定後の提出書類、提出方法、準備物など 【演習】 内定書類記入 誓約書、内定受諾書、個人情報書類の署名捺印
11	入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。(1)	【研修】 研修の目的、研修内容、研修への関わり方 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
12	入社前研修、オリエンテーションについて理解できる。(2)	【入社前研修】 入社時書類、労働条件(給料、時間、休日、勤務地) 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
13	日本企業の仕事について理解できる。(1)	【日本の企業】 1日、1か月、1年間の仕事の流れ 【演習】 仕事の流儀「プロフェッショナル」視聴、感想文 キャリア面談
14	まとめと対策	【テスト】 記述式 【テスト】 回収
15	まとめと対策	【テスト返却】 フィードバックと解説 【振り返り】 講義の振り返り、まとめ

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	留学生：『留学生のための就職内定ワークブック』（一般社団法人留学生支援ネットワーク） 日本人：就職内定基本テキスト（日本能率協会マネジメントセンター）
参考文献・資料等	
備考	担当教員はキャリアコンサルタントとしての実務経験を活かし、就職内定へ向けての実践的なカリキュラム運営を行う

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	プロジェクト演習		(NKT24R)
講義名 (コード)	プロジェクト演習A		(NKT24RA)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	1
授業担当者	高木 裕衣	時間数	30
成績評価教員	高木 裕衣	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	プロジェクト学習を通して、問題点の追求とその解決策を考える力をつける
全体の内容と概要	問題発見と解決のためのプロセスを学ぶ
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	指示があるとき以外は携帯使用禁止

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	問題発見と課題発見の違いを理解できる	様々なシーンを見て、問題と課題について考える
2	プロジェクトに進め方を理解できる	架空のストーリーをもとに問題を考え、その課題、解決案を導き出す
3	身の回りの問題、課題について考えることができる	身の回りで問題はないか思い返し、その課題、解決方法について考える
4	身の回りの問題、課題について考えることができる	実際に解決策を試して、適切だったか、改善策はあるか再考する
5	町おこしの事例を知ることができる	さまざまな町おこしの事例を知り、自分の町に当てはめて考えてみる
6	自分の周りの環境の問題に気づくことができる	グループになり、身近で感じる町の問題について考える
7	問題に対しての解決策を話し合うことができる	上がった問題についてどのような解決策が取れるか意見を出し、まとめる
8	必要な情報を得られる	フィールドワーク
9	必要な情報を得られる	フィールドワーク
10	情報をまとめることができる	グループごとにまとめる
11	情報をまとめることができる	グループごとにまとめる
12	情報をわかりやすく伝えることができる	発表準備
13	情報をわかりやすく伝えることができる	発表準備
14	まとめ	発表
15	まとめ	発表

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	なし
参考文献・資料等	
備考	

1. 本授業科目の基本情報			
科目名 (コード)	Webマーケティング実践Ⅲ		(NKT24S)
講義名 (コード)	Webマーケティング実践ⅢG		(NKT24SG)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	敦賀 由美子	時間数	30
成績評価教員	敦賀 由美子	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要	
授業の目的 到達目標	デザインツール「CANVA」を使用し、デザインの基礎から応用まで学び、媒体に合わせて視覚的に魅力的で効果的なデザインを作成するスキルを身につける。
全体の内容と概要	CANVAの基本操作とデザイン原則を学ぶ。レイアウト、配色、タイポグラフィなどの基礎を習得し、プレゼンテーション・SNS投稿画像やポスターなどの制作に取り組む。
授業時間外の学修	なし
履修上の注意事項等	なし

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	オリエンテーション	CANVAアカウント取得・共有方法確認、Webマーケティングの説明、SNS利用状況の確認
2	基本操作の習得	テンプレートの使用・画像加工・素材の挿入・ページの追加などの基本操作を学び、自己紹介ページを作成
3	基本操作の習得	テンプレートの使用・画像加工・素材の挿入・ページの追加などの基本操作を学び、自己紹介ページを作成
4	基本操作の習得	自己紹介ページのプレゼンテーション
5	デザインの基礎の習得	色・タイポグラフィ・レイアウトの基本を学び、オリジナルロゴ作成
6	デザインの基礎の習得	色・タイポグラフィ・レイアウトの基本を学び、オリジナルロゴ作成
7	テキストデザイン・文字組みの基本の習得	パンフレットの制作
8	テキストデザイン・文字組みの基本の習得	パンフレットの制作
9	テキストデザイン・文字組みの基本の習得	パンフレットの制作
10	効果的なキャプション・ハッシュタグの作成スキル習得	SNS投稿画像とキャプション作成
11	効果的なキャプション・ハッシュタグの作成スキル習得	SNS投稿画像とキャプション作成
12	効果的なキャプション・ハッシュタグの作成スキル習得	SNS投稿画像とキャプション作成
13	期末テスト	成果物制作
14	期末テスト	成果物制作・提出
15	フィードバック	テスト内容に関するフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	Canva 基本&デザインTIPS！ 無限に役立つ使いこなすワザ152 技術評論社
参考文献・資料等	①世界一やさしいCanva 無料で使えるデザイン作成ツールガイド インプレス ②ちなみにそれ、Canvaでできます！ インプレス
備考	